

春の彼岸 三回

仏様の教えを実行することを「彼岸に渡る」と言います。お彼岸の一日、家族で墓参し先祖に感謝致します。お彼岸は入りの日から明けの日まで七日間の供養の日があります。お彼岸を何となく過ごすより、少なくとも一日はお寺参りに行く日にしたいです。あの世からご先祖様もその行為を願っている事でしょう。我々は忙しい日々を送っているだけに、この機会に供養すれば新たな自分を知り、供養心に満足することができましょう。こんな話を聞いた事があります。

『ある日、春を探しに野山を歩き回ったけれど春は見つからなかった。疲れて家に帰り庭を見ると、我が家の庭に梅の蕾を見つけた。その人は、「春は身近にあった。」と感動したとのことでした。』幸せは身近にあるのかも知れません。彼岸の一日幸せである事に感謝しましょう。

日蓮聖人 遺訓 十二

「あたたかなる夫をば懐きて臥せどもここへたる母の足をあたたむる女房はなし」(刑部左衛門尉女房御返事)

夫婦相和すことは結構なことです。また、核家族での幸せを求めることも結構です。しかし、夫の親でも、私達を生んでくれた親の恩を忘れてはいけません。日蓮聖人は教えられています。



宝清寺



身延山の五重塔

身延山悲願の五重塔の復元は、昨年より組み立て作業が順調に進み、平成二十年三月十四日に上棟式を奉行する運びとなりました。

当日は午前十一時より、身延山久遠寺五重塔建設予定地にて上棟式を開式し、身延山大學の講堂で祝宴が開宴されるとの案内が当山に届きました。完成は秋の予定、落慶式は平成二十一年五月に予定されています。本事業について格別なるご丹誠を戴きました皆様に対し衷心より厚くお礼申し上げます。

偽物びと口説き 十三

以前、香港に旅行したことがある。同行したメンバーに宝石店を経営する社長さんがいた。偽物が多い香港で、香港翡翠の買い付けをするのだと言う。フリーの時間にその人が九龍街に香港翡翠を見に行くというので私も同行させてもらった。ある店に入り口付近の品を見て、店員に、「私は宝石商だと名乗り、この店は偽物ばかりで良いものは置いてないのか。」と尋ねると、店員は、「奥の部屋はどうぞ。」と、奥の部屋に通し、金庫から香港翡翠を出して並べた。その社長さんはあまり時間を掛けず数点の香港翡翠を買った。素人の私が見ても、店頭のと濁った緑とは違って、鮮やかな透き通るような緑色をしていた。その店を出て、社長さんに、「本物と偽物を見分けるにはどうしたら良いのですか。」と尋ねた。社長さんは、「何時も本物だけを見るように心掛けています。偽物はすぐに分かる。」と聞かされた時、新鮮な驚きを感じたことを今でも覚えていて。最近の事件に、「査証」・「改ざん」・「偽装」・「詐欺」等、本来あるべきルールの隙間をかがみぐつて、人を騙し、世を欺くものが多く目に付く。その背景には人々の欲望が渦巻いている。性善説に立つ傾向が強い善良な日本人は、悪意を持った策略に乗せられやすい。そうした世の中で、「本物の行き方を通して、自分自身の生活を確立する。」ということは大変難しい。私は最近の世の中で、「本物と偽物を見分ける基準」をその出来事やその人の言動が「自然であるか不自然か」に置いてある。人は自然と共に生きてきた。そうした生き方の本質は「純粋」・「単純」・「明快」で、本来は「すっきり」したものであったはずである。人間の思惑や欲望が人々を多分にし、社会を複雑にしてきたと思われからである。

境内にはたくさんのお花が咲きます。裏面に宝清寺の花々を紹介しています。

仏事Q&A 2

「もしも、身内に不幸があった場合お寺への連絡などどのようにしたら良いのですか。」

「もしもの時は、先ず、お寺にご一報下さい(当山では急な場合どの時間帯でも電話が通じるようになります。)

「宝清寺の墓地(橘墓苑)の使用を申し込まれた方の多くは、突然身内に不幸があり急遽墓地を決めた方が、

仏様はいないけれど、将来、子供達の負担を軽くしたいとの考えから求められた方々です。いずれにしても、身に不幸があった時は、気が動転して過去の経験を失念してしまったり、特に、家族の将来のために墓地を求められた方の大部分は、檀家として墓地の永代契約をしたのは両親で、その両親が何年も経って亡くなられた場合、当山と檀家としての契約状況を含めた墓地使用許可書の存在すら分からず、悲しみと動揺から親戚や病院から紹介された葬儀社などの意見に誘導され葬儀が進行されてしまう場合があります。

菩提寺があるにも拘わらず、菩提寺に連絡もなく、葬儀を済ませた後、「四十九日忌の法要と納骨をお願いします」と連絡したら、お寺から埋葬を断られた。」と、時々聞く事があります。

最近、病院で亡くなる場合が多く、病院から病院指定の葬儀社を紹介される事があります。その場合、「菩提寺の住職に日時などの相談をしますので、お待ち下さい。」と申し出て、先ず、お寺に連絡と相談をして下さい。もし、葬儀社の心当たりがなければ、良心的な葬儀社を紹介することもできます。

ご家庭で皆様が健康な時に、もしもの時慌てないために、また、トラブルを未然に防ぐために、お彼岸の機会などに、お寺との関係やもしもの時の連絡の仕方など家族で話題にする機会を持つ事が大切ではないでしょうか。更に、葬儀の後に生命保険の受け取り方、厚生年金・国民年金の手続きなど、しなければ不利益を被る届け出や手続きが集中することも考えておく必要があると思われま。

仏様はいないけれど、将来、子供達の負担を軽くしたいとの考えから求められた方々です。いずれにしても、身に不幸があった時は、気が動転して過去の経験を失念してしまったり、特に、家族の将来のために墓地を求められた方の大部分は、檀家として墓地の永代契約をしたのは両親で、その両親が何年も経って亡くなられた場合、当山と檀家としての契約状況を含めた墓地使用許可書の存在すら分からず、悲しみと動揺から親戚や病院から紹介された葬儀社などの意見に誘導され葬儀が進行されてしまう場合があります。

菩提寺があるにも拘わらず、菩提寺に連絡もなく、葬儀を済ませた後、「四十九日忌の法要と納骨をお願いします」と連絡したら、お寺から埋葬を断られた。」と、時々聞く事があります。

最近、病院で亡くなる場合が多く、病院から病院指定の葬儀社を紹介される事があります。その場合、「菩提寺の住職に日時などの相談をしますので、お待ち下さい。」と申し出て、先ず、お寺に連絡と相談をして下さい。もし、葬儀社の心当たりがなければ、良心的な葬儀社を紹介することもできます。

ご家庭で皆様が健康な時に、もしもの時慌てないために、また、トラブルを未然に防ぐために、お彼岸の機会などに、お寺との関係やもしもの時の連絡の仕方など家族で話題にする機会を持つ事が大切ではないでしょうか。更に、葬儀の後に生命保険の受け取り方、厚生年金・国民年金の手続きなど、しなければ不利益を被る届け出や手続きが集中することも考えておく必要があると思われま。

宝清寺年中行事

三月	彼岸中日	塔婆供養
四月	月八日	花祭り
七月	月十七日	お施餓鬼供養
七月	月十七日	お施餓鬼供養
九月	月十二日	お塔婆供養
十月	月十二日	お塔婆供養

日蓮宗の聖日

二月	月十五日	釈尊降誕会
二月	月十八日	釈尊成道会
三月	月二十日	伊豆入山会
五月	月二十七日	本尊御入山会
七月	月二十七日	松葉谷法難会
八月	月二十七日	龍ノ口法難会
九月	月十八日	宗祖御入山会
十一月	月十一日	小松原法難会

御祈願・御供養

交商虫方除星安開
通繁盛安
封祈
祭除祈
厄位
運産
守守
りりり願けじ願全

このほかに諸祈願や自動車
お供養の命忌供養も月
日供養等寺務所まで
相談ください。

お彼岸塔婆供養の大事

「暑さ、寒さも彼岸まで」と申します。寒い冬をじつと耐え、やつと暖かい日差しが縁側に差し込むようになると、春彼岸がやってきます。秋の彼岸は、春とは反対に、とても暑い夏の日差しが和らいだ頃になって来るのです。

どちらにも、彼岸の頃はとても過ごしやすい季節の到来と言ったところでしょうか。このような季節こそ人間は怠け者になると言われ、お彼岸の行事は、自分の怠け心を戒（いさ）める行事だとも言われています。

お彼岸は中日の前後六日を合わせて、合計七日間行われます。この前後「六」と言いう数字は、仏教ではとても大切な数なのです。

お寺の入り口に立っている地藏菩薩も六人ですが、この「六」は地獄（じごく）界、餓鬼（がき）界、畜生（ちくしょう）界、修羅（しゆら）界、人間界、天界の六つの世界で苦しんでいる人々を救済するために六人が頑張っているのです。

また菩薩は、布施（ふせ）、持戒（じかい）、忍辱（にんにく）、精進（しんじん）、禅定（ぜんじょう）、智慧（ちえ）の六つの修行をしています。

季節の変わり目である、彼岸に、この六つの修行をすることは、我々人間にとつても必要なことなのです。布施は三つに別れ、財施（ざいせ）、金銭や物質を施すこと、法施（ほうせ）、仏の教えを説いたり、塔婆供養などを施すこと、無畏施（むいせい）、他人の苦しみや恐怖を取り除くこと）

法施が重要だと教典に説かれていますが、特に大切なのは、二番目の塔婆供養です。また、彼岸の中日は、我々人間界

と仏界との距離が最も近くなる時期だとも言われ、それだけ供養がとどきやすくなる時期だと言われています。是非、この時期にご先祖様の供養をなさることをおすすめします。

管理料の口座振替の案内

平成二十年年度分の管理料納入の時期が近づいてまいりました。管理料は前納（四月から翌年の三月）になっておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

●管理料自動振替の方

平成二十年の管理料自動払い込みは、三月二十五日（火）となっておりますので、日にちが近くなりましたら、残高をご確認ください。ますようご案内いたします。

●多摩信用金庫で振込納入の方

① 昨年より、「多摩中央信用金庫」の名称が、「多摩信用金庫」と変更されました。お間違えのないようご注意ください。

② 振込は、銀行に備え付けの「口座振込用紙」をご使用ください。

●持参されて納められる方

持参されて納められる方は、直接、管理事務所にご持参の上納めください。

●自動払込を希望される方

これから、自動払い込みを希望される方は、新たに手続きが必要ですが、新たに手続きをされた方は、来年度分（平成二十一年度）から引き落としが開始されますので、ご注意ください。

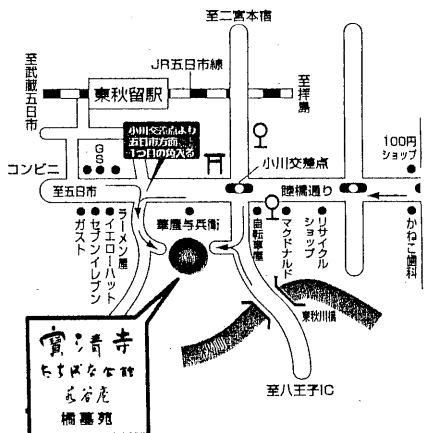
自動払込手続きは、申込用紙が必要になりますので、宝清寺管理事務所にご来寺頂くか、電話にてお問い合わせください。

申込用紙記入後は、ご自身で、最寄りの郵便局に提出して頂きます。

※※ご注意ください※※

現時点で、「郵便局自動払込手続」を申し込まれますと、来年度分（平成二十一年）からになり、本年度分（平成二十年）は払込ができません。本年度分を納入される方は、ご持参頂くか、または「多摩信用金庫」から振り込み頂けますようご案内申し上げます。

宝清寺への行きかた



★「宝清寺の仏さま」と「宝清寺の草花」は休みさせていただきます。